

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 11月

公表: 令和6年2月

事業所名 チャイルドハート唐津

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	状況に応じて工夫し行っている。
	2	職員の配置数は適切である	5	1	配置数は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	段差等、配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	ミーティングを通して行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		アンケートは不足しているが、連絡帳を通して保護者様の意向を知るように努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	アンケートは不足しているが、連絡帳を通して保護者様の意向を知るように努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		定期的に行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		計画書に基づき、支援を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	ツールはあるが、個別に対応したアセスメント評価が必要と考えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		月、週、日ごとに活動プログラムを検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		様々な専門家が意見を出し、固定化しないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		計画書に基づき、行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6		その日の状況に応じて対応している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼にて実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		営業時間の関係で難しい場合もある。緊急な要件以外は翌日の朝礼にて行っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		計画書に基づき記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		基本的に管理者が参加しているが、不足している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		基本的に送迎時に行っている。必要に応じて会議を開いている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	現在、医療的ケア児は利用していないが、必要に応じて整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		必要に応じて連絡をとり、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	過去に該当者はいないが、今後実施していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	必要に応じて行っている。
関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	現在、実施していないが、機会があれば実施したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2	管理者が協議会の会長をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳、送迎を通して実施しているが、不足していると考えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	保護者への支援は必要に応じて行っているが、ペアレント・トレーニングは実施していない。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		実施しているが、より伝えやすい環境を作っていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	年に1回は実施するようにしているが、不足しており、来年度より交流の場を提供していくことを検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		苦情があった場合は適切に対応できるようしている。

責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		定期的に配布している。行事予定に関しては、発信が遅い場合があり、改善していく。
	35	個人情報に十分注意している	6		同意書を取り、十分に注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		十分に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	地域交流は行っているが、招待するにまで至っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		マニュアル作成は行っているが、保護者様への周知は行っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に必要な訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		定期的に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		6	該当者はいないが、必要性が出れば十分に検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		医師、保護者と情報共有を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット記入を推進し、事故防止に努めている。